

2022.9

医療連携室

052-652-7954

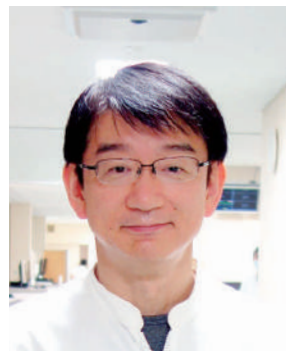
公益社団法人日本海員救済会
名古屋救済会病院



NEWS

病診 連携

ご挨拶



地域医療支援センター長
副院長 島浩一郎

令和4年9月1日より、落合副院長の後を受けまして、地域医療支援センター長を務めさせて頂きます。呼吸器内科の島浩一郎と申します。

当院は2020年2月半ばに最初の新型コロナウイルス患者を経験しました。中国滞在歴もクルーズ船渡航歴も無く、人工呼吸を要する重症患者でした。そのため、治療はどうすべきなのか、個人防御や院内感染対策は正しいのかなど、手探りでの対応でした。それから早2年半が経ちました。ヨーロッパ諸国や米国では、ワクチンと罹患による両免疫により、莫大な数の死者を出しながらも現在はトンネルを抜けて、以前に近い日常を取り戻したようですが、日本は集団免疫にはほど遠く、変異が繰り返される度に多数の患者をだしています。変異は弱毒化の方向に進むとは限りませんが、画期的な新薬の目処も立っておらず、将来的にも、同じ『ウイズコロナ』でも欧米のようになるのか、結核蔓延時代のような、死に至りうる伝染病と共存する日常へと進むのかは、分かりません。

コロナは何時の日か収束の日を迎えるでしょうが、日本に確実に訪れるのは世界で初めての超高齢化社会です。

これまででは、急性疾患や外傷、生活習慣病ベースの疾患等で受診され、治癒を得て退院・社会復帰されたり、リハビリ等のため回復期ケア施設へ移られたり、福祉施設を利用されるなど、ある程度は一方向的な患者の流れの中で医療連携が機能していました。

しかし、爆発的に増加する高齢者は、治癒しても元の状態までは戻れず、また、単一の疾患の増悪と改善を繰り返すだけでなく、併存疾患についても増悪と改善を繰り返し、地域の医療施設や福祉施設などと急性期病院との間での行き来を繰り返しながら、末期ケアへと進んでいくことになりました。

疾患自体も心臓病や糖尿病等よりも、認知症や寝たきり・誤嚥性肺炎など、老いる自然経過が原因の、治癒が望みがたい方が多数を占めるようになります。

少子高齢化への対応のために、経済や社会をどうshrinkしていくかが、ベストセラーの『下山の思想』や『未来の年表』などで語られています。医療においても『下山の医療』を頭に描き、医療連携にもこれまでの一方向ではない、循環型連携モデルへの対応が必要になりそうです。

コロナの終点が見えず、社会も変わっていくのが避けられない以上、医療連携も現状維持という選択肢は考えられません。前を向いて改善の道を探っていきたくと考えています。

そんな中でまず行いたいのは、医師の顔の見える連携です。連携施設へのご訪問はこれまでにもさせて頂いておりましたが、事務職員が伺うことが多く、先生方のご要望やご不満を直に伺える機会が多くありませんでした。

私も伺いたいと思いますが、外科や小児科・内科等の部長にも、可能な限り先生方のご施設を伺わせて頂けるよう働きかけていきます。

また、医療連携用のメールアドレスを設定しました。ご連絡を頂ければ、その日のうちに対応させて頂くよう心がけていきたいと思えます。

新型コロナウイルスのため、ホテルなどを借りての勉強会や会合を持つことは当面は難しく、ウェブ開催を強いられています。一日も早く直接お会いしてご意見をうかがえるようになればと思っています。よろしくお願致します。

退職のご挨拶



副院長 落合淳

この度、定年により名古屋救済会病院を退職することになりました。

平成13年7月より21年程お世話になりました。この間、脳神経内科では、近隣施設の先生と症例検討会等開催させていただき、また回復期病院の先生とも検討会を開催しいろいろご協力いただきありがとうございました。副院長となり、地域医療支援センターとして、先生方には紹介、逆紹介を通してお世話になり、ありがとうございます。コロナが発生し、病診システムセミナーなど対面形式で開催することが出来ませんでした。オンラインで開催し、ご協力いただいたことを感謝致します。

地域医療支援病院として、これからも皆様と共に名古屋救済会病院が、その役割を果たして行ければと思います。今後地域医療支援センター長は、副院長の島先生に引き継ぎますのでよろしくお願致します。私は尾張温泉かえ病院に移動し、地域医療に貢献できるように努力致しますのでよろしくお願致します。



名古屋救済会病院医療連携システムセミナー

令和4年10月26日(水) 19:00～ ANAクラウンプラザ ホテルグランコート名古屋にて病診連携システム勉強会を開催します。

一般講演 『多発性硬化症・視神経脊髄炎の診断と治療』

演者：名古屋救済会病院 脳神経内科 部長 細山 幸子 先生

特別講演 『ステロイド性骨粗鬆症の治療』

演者：医療法人IRO 名古屋膠原病リウマチ痛風クリニック

理事長 田中 郁子 先生

- ◆ 事前申し込みをお願いいたします。
- ◆ 感染症予防対策を講じています。
- ◆ 今回は意見交換会はございません。
- ◆ 当セミナーは日本医師会生涯教育講座として認定されています。(1.5単位)

★参加登録方法

- ・当セミナーへご視聴参加いただく際には、右記二次元コードから、**当日12時まで**に事前申込をお願い致します。
- ・当日会場へのご参加は**申し込み順により、上限15名様まで**とさせていただきます。
- ・会場参加の人数を把握させて頂くため、**会場・WEB参加に関わらず、ご登録をお願い致します。**
- ・個人情報は参加URL送付のみに使用し、他の目的には一切使用致しません。

◎問い合わせ先

中外製薬株式会社 杉山 吾郎 電話；080-1230-1375

